

コスモ石油(株) 新・連結中期経営計画 05年度進捗状況と今期方針

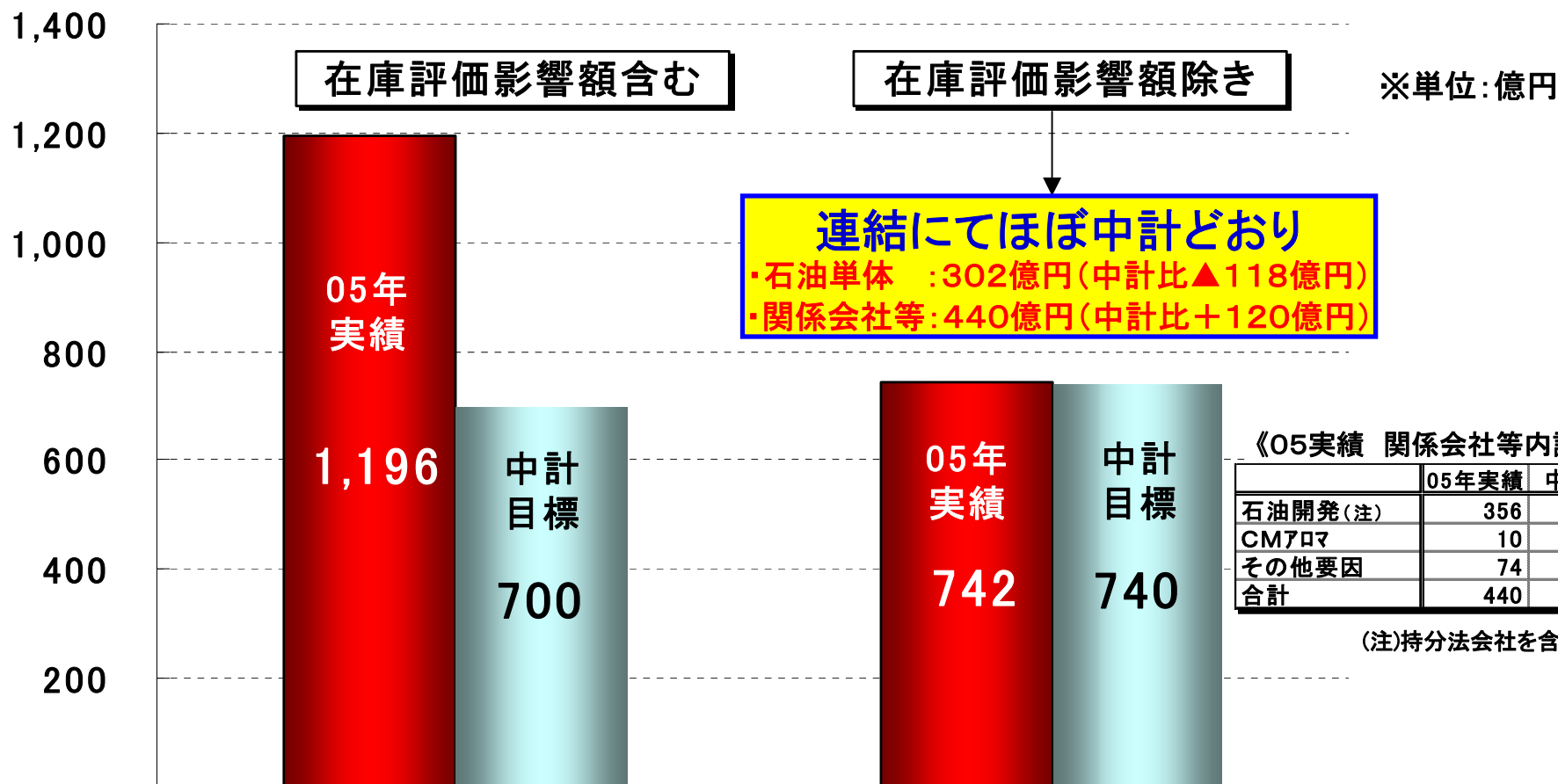
2006年5月17日

代表取締役社長 : 木村 彌一

常務取締役 : 近藤 直正, 宮本 諭

本日のご説明内容

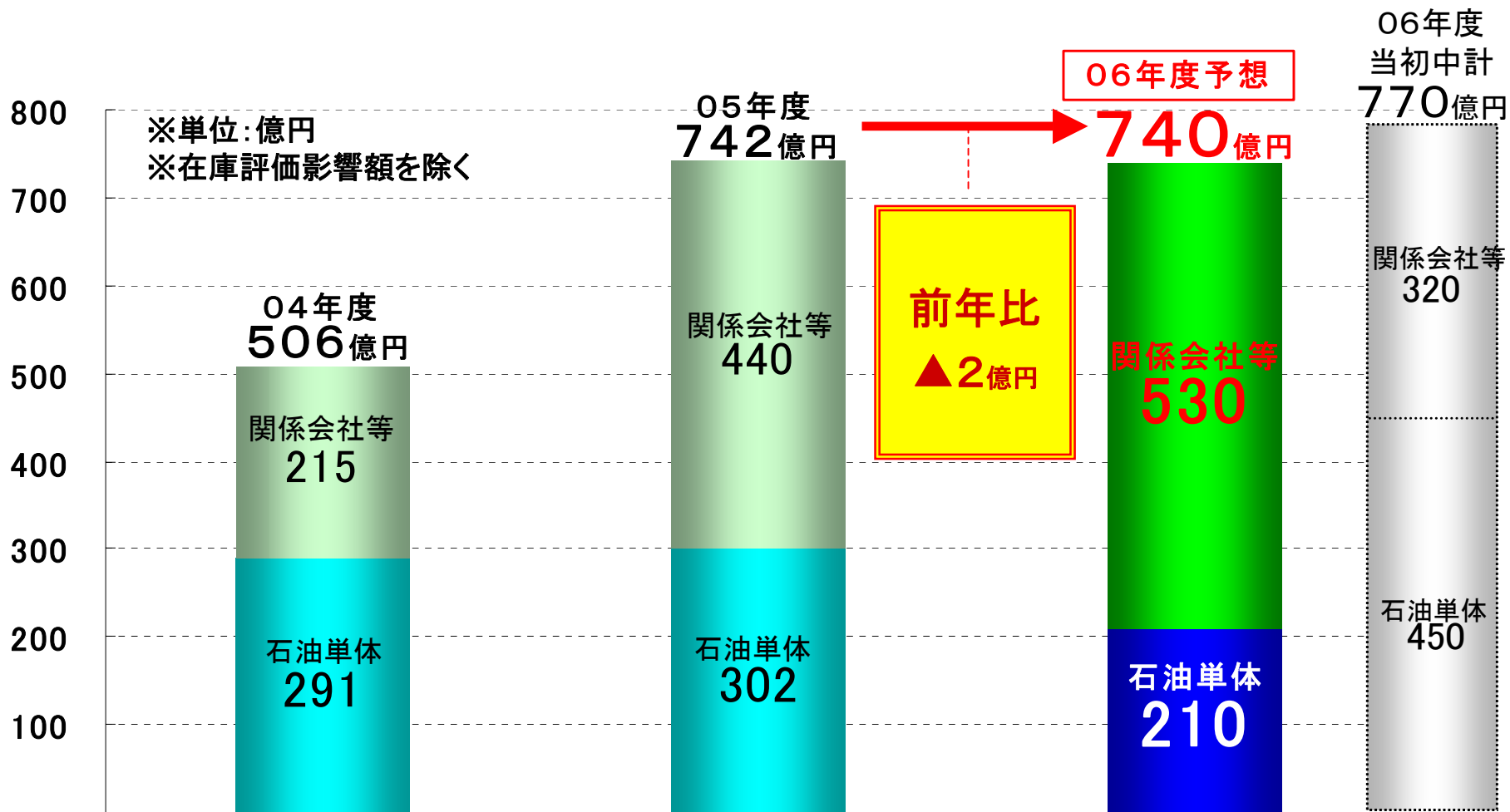
	05年度決算総括と 06年度基本方針	1～3 ページ	代表取締役社長 木村 彌一
中計の進捗と 今期方針	2005年度通期 決算の概要	4～7 ページ	常務取締役 宮本 諭
	2006年度通期 業績予想の概要	8～9 ページ	
	部門毎の進捗状況と 今期の方針	10～17 ページ	常務取締役 近藤 直正



2006年度予想経常利益

原油前提: 56.5\$/B
 為替前提: 115.0円/\$

06年度予想経常利益
 (在庫評価影響額除き)
740億円



中計諸施策の確実な実行

《石油単体》
付加価値向上
・合理化 の推進

《石油開発》
生産量の維持・拡大

《石油化学》
CMアロマ能力増強

連結経常利益
(前年比)
▲2億円

(前年) (予想)
742億→740億

※在庫評価影響額を除く
※石油開発には持分法会社を含む

単体
▲92億円

(前年) (予想)
302億→210億

関係会社
+90億円

(前年) (予想)
440億→530億

付加価値向上
・合理化 効果: +61億円

事故影響: ▲100億円

その他要因: ▲53億円

石油開発会社(注): +92億円

CMアロマ: +5億円

その他関係会社等: ▲7億円

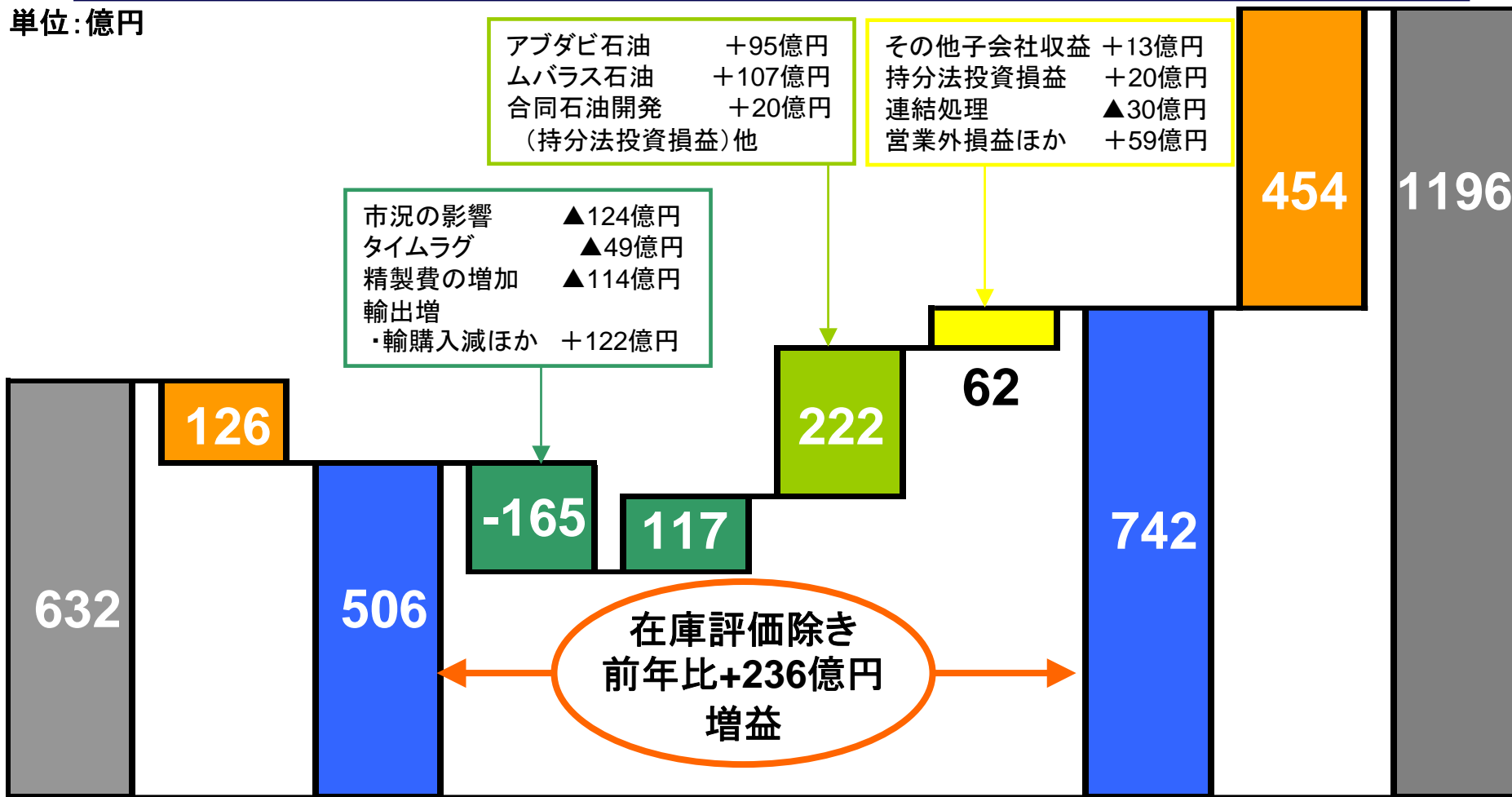
単位:億円

	実績		前年比	
		石油単体		石油単体
売上高	26,706	24,954	5,160	5,304
営業利益	1,112	751	455	277
経常利益	1,196	756	564	339
(在庫評価の影響額)	454	454	328	328
(在庫評価除き)	742	302	236	11
当期純利益	618	465	354	328

※原油価格、販売数量・伸び率、販売価格などについては、補足資料1を参照ください

【05FY決算】連結 経常利益 前年比+564億円 増減分析

単位:億円



在庫評価除き
前年比+236億円
増益

2004年度 実績			2005年度 実績						
-----------	--	--	-----------	--	--	--	--	--	--

経常利益	在庫評価の影響額	在庫評価除きの経常利益	石油単体		石油開発会社	その他	在庫評価除きの経常利益	在庫評価の影響額	経常利益
			市況の影響ほか	中計効果					

【05FY決算】連結会社 主要連結子会社・持分法適用会社の実績

6

単位:億円

<<主要連結子会社 経常利益>>

		実績	前年比	要因
主な 石油開発 会社	アブダビ石油	214	95	①原油価格上昇(36.6→52.7\$/BBL) ②円安(108.8→109.1¥/\$)他
	ムバラス石油	107	107	①原油価格上昇(36.6→52.7\$/BBL) ②円安(108.8→109.1¥/\$)他
	合同石油開発 (持分法適用会社)他	35	20	①原油価格上昇(36.6→53.3\$/BBL) ②円安(108.2→110.2¥/\$)他
	合計	356	222	
販売子会社		17	▲ 1	セルフSS推進に伴う経費の増
その他連結会社		68	14	

※:主要連結子会社別、セグメント別実績については、補足資料3を参照ください

<<持分法適用会社>>

	実績	前年比
持分法投資損益	96	41

【05FY決算】連結 C/F および B/Sの概要

単位:億円

	実績	前期末比	主な要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 207	-	油価上昇による売掛債権、たな卸資産の増加など
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 13	-	
財務活動によるキャッシュ・フロー	396	-	
期末のキャッシュ残高	566	185	

	実績	前期末比
総資産	14,636	1,404
株主資本	3,125	846
株主資本比率	21.4%	4.2%
有利子負債(ゼロクーポン社債を含む)	5,224	246
有利子負債依存度	35.7%	1.9%改善
D/Eレシオ(倍)	1.7	0.5改善
ネット有利子負債(ゼロクーポン社債を含む)	4,658	▲ 30
有利子負債依存度	31.8%	3.6%改善
D/Eレシオ(倍)	1.5	0.5改善

単位:億円

	業績予想		前年比	
		石油単体		石油単体
売上高	26,800	25,000	94	46
営業利益	690	170	▲ 422	▲ 581
経常利益	660	130	▲ 536	▲ 626
(在庫評価の影響額)	▲ 80	▲ 80	▲ 534	▲ 534
(在庫評価除き)	740	210	▲ 2	▲ 92
当期純利益	220	65	▲ 398	▲ 400

期末配当金(2007年3月期)予想

年間配当金 8円/株

<<業績予想の前提 >>

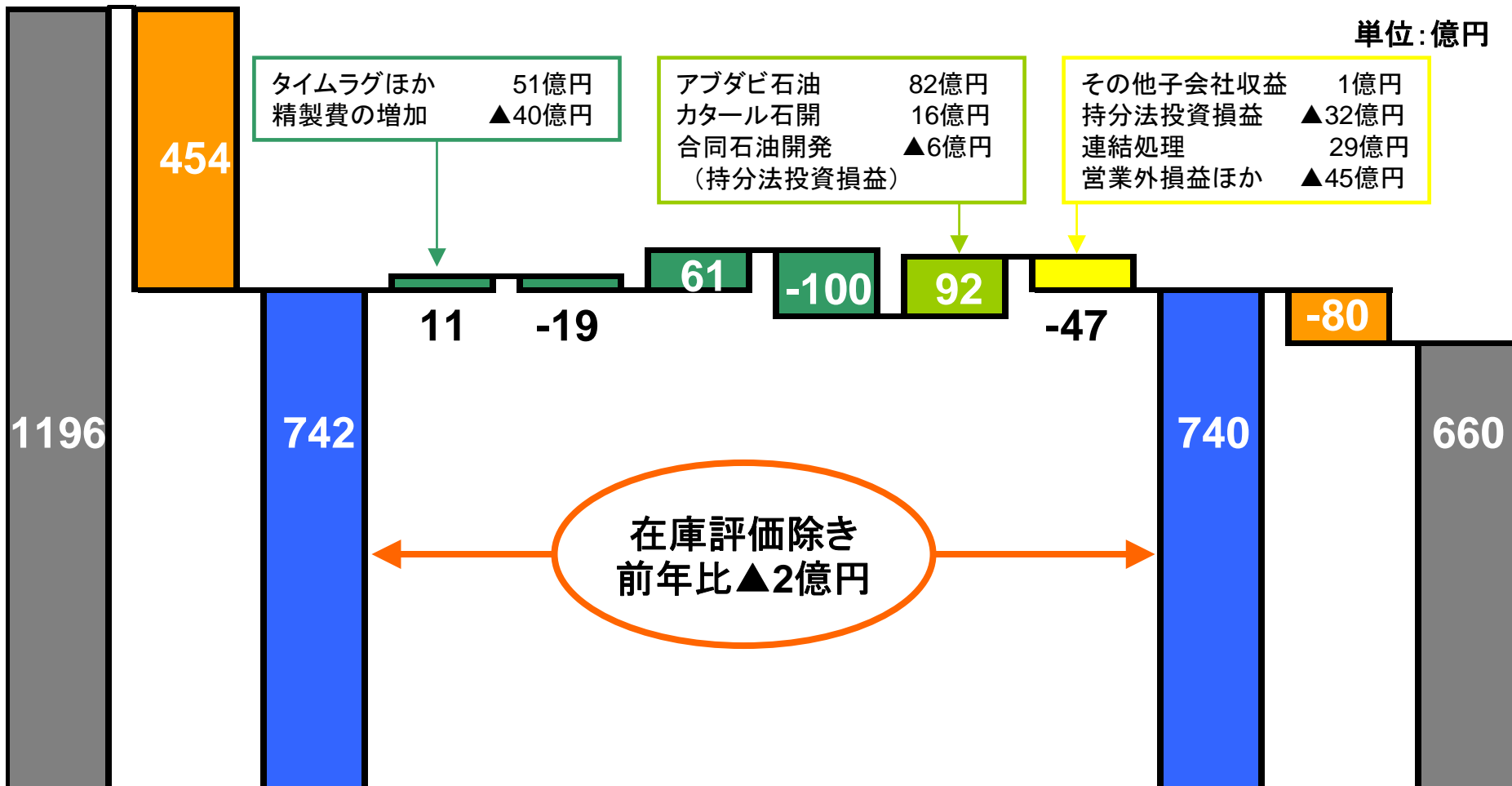
	通期
受入原油(FOB、\$/BBL)	56.50
為替(円/\$)	115.00

※1:業績予想の前提の詳細については、補足資料1を参照ください

※2:主要連結子会社別、セグメント別の業績予想については、補足資料7を参照下さい

【06FY予想】連結 業績予想② 経常利益 前年比 増減分析

単位:億円



2005年度 通期 実績			2006年度 通期 業績予想								
経常利益	在庫評価の影響	在庫評価除きの経常利益	石油単体				石油開発会社	その他	在庫評価除きの経常利益	在庫評価の影響	経常利益
			市況の影響ほか	販売数量減	中計効果	事故影響					

◆2005年度実績

改善金額合計: 117億円

中計当初計画達成率: 133%

◆2006年度計画

改善額合計: 61億円

※単位: 億円, %

		2005年度			2006年度 計画
		当初中計	実績	達成率	
付加価値向上	供給部門	28	48	171%	15
	販売部門	39	49	126%	24
	その他部門	1	0	0%	1
	小計	68	97	143%	40
合理化	供給部門	17	15	88%	11
	販売部門	0	0	N.A.	5
	その他部門	3	5	167%	5
	小計	20	20	100%	21
総合計	供給部門	45	63	140%	26
	販売部門	39	49	126%	29
	その他部門	4	5	125%	6
	合計	88	117	133%	61

◆ 主要な取り組み内容

① 付加価値向上

→ 収益性改善プログラムの各製油所への展開

② 合理化

→ エネルギーコスト、修繕費、作業費の削減

※単位：億円

	05年度実績		
	中計	実績	達成率
付加価値向上	28	48	171%
合理化	17	15	88%
合計	45	63	140%

	06年度 計画
付加価値向上	15
合理化	11
合計	26

基本方針

販路構成改善・油種構成改善・マスチャネル強化の推進

05年度改善金額
49億円(中計比+10億)

06年度改善目標金額
24億円

強化ターゲット
(従来より継続)

販路

出資店・地場店

油種

ガソリン・軽油

チャネル

SS

出資店

強化戦略の継続

セルフSS

Auto B-cleネットワーク

コスモ・ザ・カード

ノウハウ
の
水平展開

地場特約店

パートナーシップ強化

セルフSS

Auto B-cleネットワーク

コスモ・ザ・カード

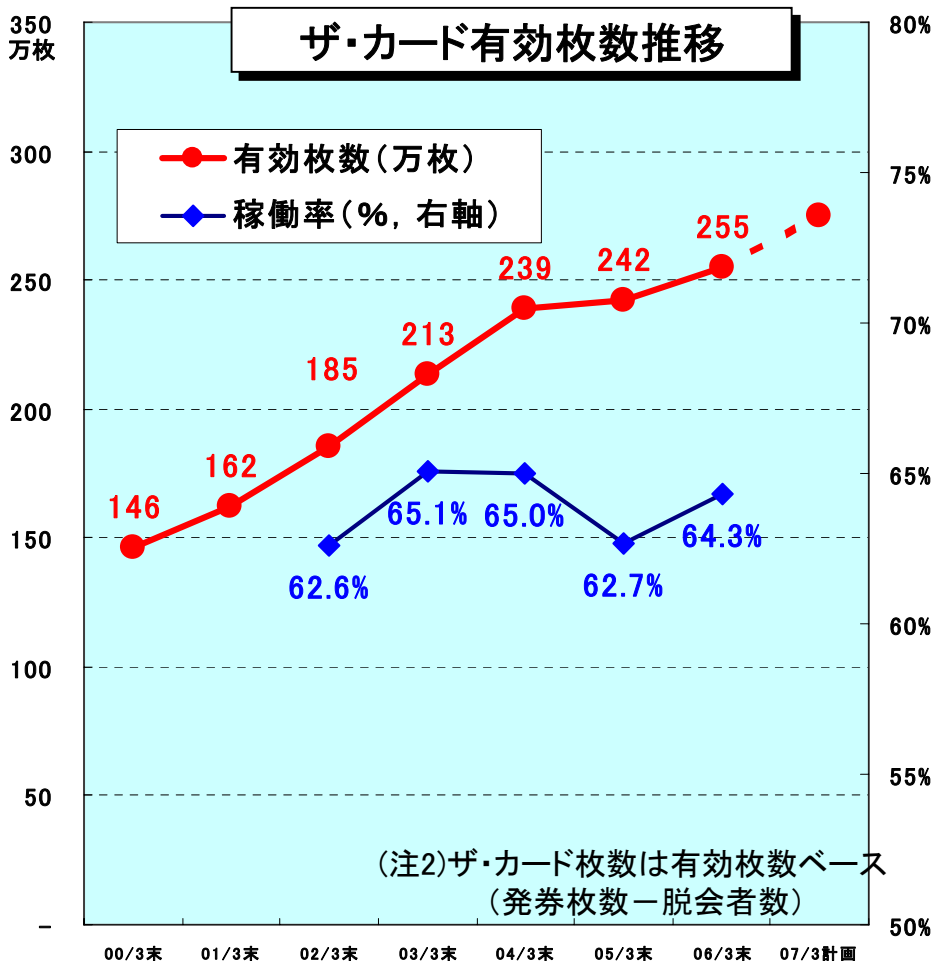
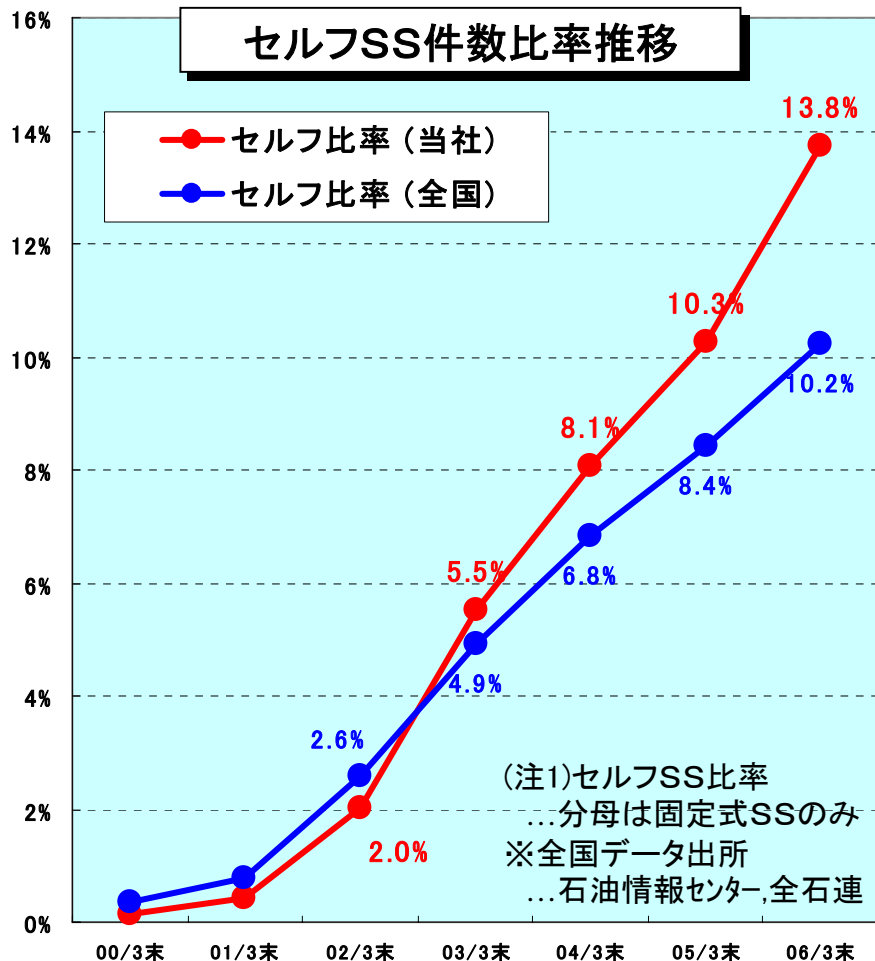
特約店経営改善

セルフSS展開

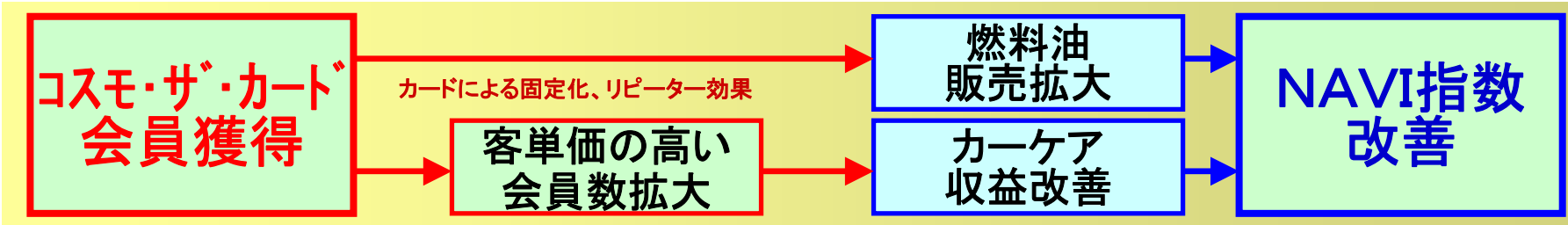
05年度末現在： 626SS
 (05年度展開数...143SS)
 セルフSS比率^(注1)...13.8%

ザ・カード発券^(注2)

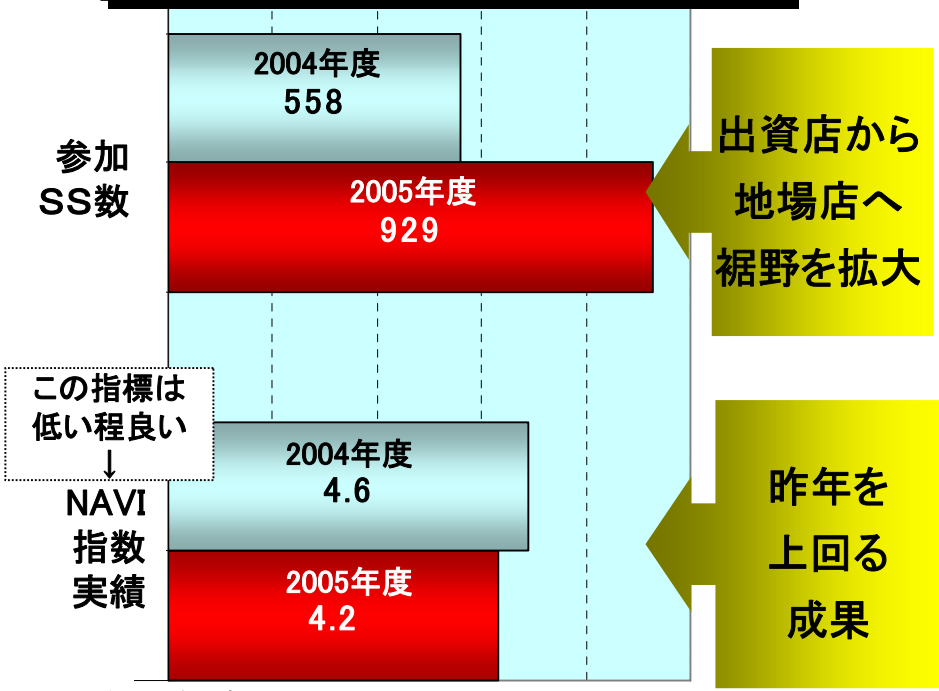
05年度末現在： 255万枚
 (05年度増加数...13万枚)
 カード稼働率...64.3%



◆SS収益拡大フローと成果(一例)のご紹介

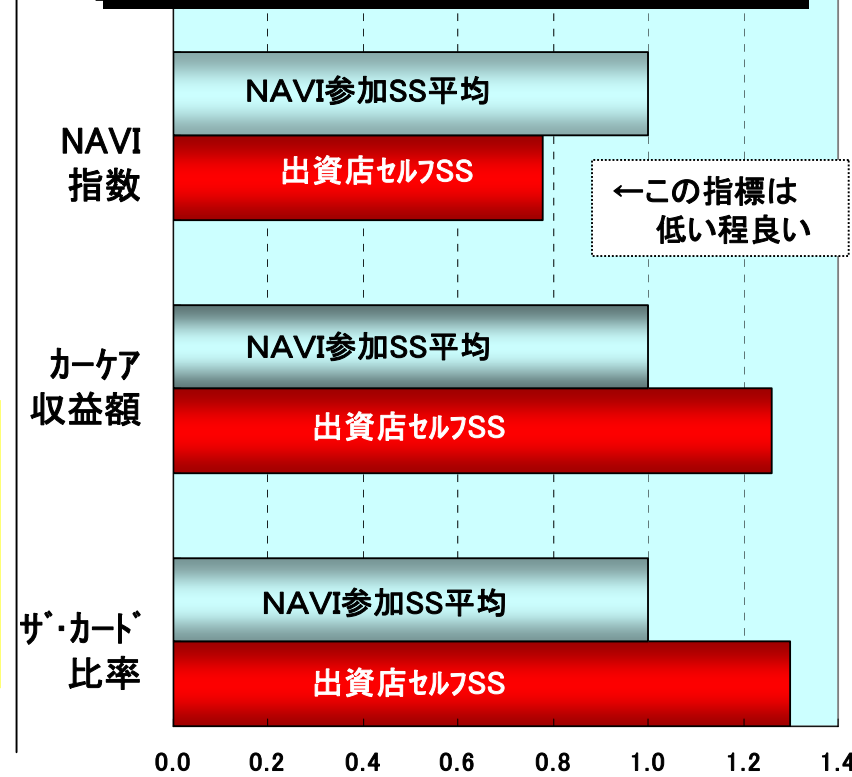


2005年度「NAVIゼロキャンペーン」実績



参加SS数目盛 200 400 600 800
 NAVI指数目盛 2.0 4.0
 ※NAVI指数の詳細につきましては巻末を参照願います

出資店セルフとNAVI参加SS平均の比較 (参加SS平均=1とした場合の比較)





仕様

- ・年会費無料。国際ブランド(VISA、Master、JCB)付き。
- ・イオンクレジットサービス(株)と共同発行。
- ・SS店頭での即時発券可能(従来のコスモ・ザ・カードと同様)
- ・コスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」もラインナップ

狙い

- ・お客様に新たな利便性を提供することが可能となり、従来のコスモ・ザ・カード(ハウス)会員に加え、新たなカード会員を獲得する。
- ・発券開始...2006年6月～(予定)

2006年3月13日～商業生産開始(日量6,000バレル)



特徴

①環境に配慮した操業

- ・カタール鉱区初の、生産開始時からの「サワーガスインジェクション」を海上で実施。
(原油採掘時に発生する随伴ガスを大気中で燃焼させず、全量を地下に圧入)

②日本企業単独のオペレーター案件

<商業生産計画概要>

生産期間:2006年～2016年
 生産量 :初期 約 6,000バレル/日
 最大 約10,000バレル/日
 生産原油性状:API約40度
 出荷 :カタール ハルル島よりカタールマリン原油として出荷

<カタール石油開発(株)概要>

設立:1997年9月
 資本金:31億4,800万円
 株主構成:当社85.8%、双日(株)14.2%

鉱区位置図



カタール石油開発(株)
06FY予想利益

項目	単位	06FY 予想
	売上高	億円
営業利益	〃	21
経常利益	〃	16
生産量	B/D	6,000

※詳細は、「補足7頁」をご参照願います

●2005年7月～

丸善石油化学(株)千葉工場内のミックスキシレン製造装置(10万トン/年)を譲受。
ミックスキシレンの製造・販売を開始。

- ・設立:2005年4月1日
- ・資本金:1億円
- ・出資比率:
 - コスモ石油65%
 - 丸善石油化学35%
- ・事業内容:
 - ミックスキシレンに関する原料調達、製造、貯蔵、販売

●2005年度通期決算

中国の経済成長によるポリエステル需要の堅調な伸びを背景に製品市況が高レベルで推移。
原油高騰による原料費の上昇を上回った。

《損益状況》

項目	2005年度		06通期 予想
	中計	実績	
売上高	109	169	429
経常利益	1	10	15

単位:億円

《本年度計画》

●2006年7月～

27万トン/年に能力増強 ...中期計画どおり進捗の見込み。
(コスモ松山石油(3万トン/年)と合わせ、グループ生産能力30万トン/年となる)

補足資料

1. 【05実績・06前提】 原油コスト・処理、販売価格・数量、原油生産量
2. 【05実績・06見通し】 石油単体 中計進捗総括表
3. 【05実績】主要連結会社・セグメント別実績：04年度実績比
4. 【05実績】主要連結会社・セグメント別実績：前回公表(2/14)比
5. 【05実績】主要連結会社・セグメント別実績：中計目標比
6. 【05実績】連結 経常利益 増減分析：中計目標比
7. 【06予想】主要連結会社・セグメント別予想：05年度実績比
8. 【06予想】在庫評価の影響を調整したEBITDAの推移
9. 【05実績】人員数、油槽所数、SS数、カード枚数推移

【実績・前提】原油コスト・処理、販売価格・数量、原油生産量

補足1

		当期	増減	伸び率	通期 前提	
受入原油	原油(FOB)\$/BBL	54.31	17.17	—	56.5	
	為替レート¥/\$	112.85	5.16(円安)	—	115.0	
	受入原油代(税込)¥/KL	41,960	13,577	—		
原油処理	原油処理量千KL	30,708	1,164	103.9%		
	トッパー稼働率(CD)	88.9%	3.3%	—		
	トッパー稼働率(SD※1)	95.2%	2.9%	—		
販売価格	販売価格(円/KL)	42,910	10,800	—		
販売数量	ガソリン	6,958	-34	99.5%	100.3%	
	灯油	3,507	-10	99.7%	95.7%	
	軽油	4,831	-29	99.4%	97.7%	
	A重油	3,795	-98	97.5%	96.1%	
	4品計(千KL)	19,091	-171	99.1%	97.9%	
	ナフサ	7,165	179	102.6%	98.7%	
	ジェット	336	-76	81.5%	99.2%	
	C重油	3,127	-389	88.9%	88.3%	
	内需燃料油(千KL)	29,719	-457	98.5%	97.1%	
	総販売数量(千KL)	46,314	1,012	102.2%	98.0%	
	ハイオクレシオ(%)	16.25%	-1.06%	—	—	
	石油開発会社生産量※2	アブダビ石油(B/D)	15,730	(出資比率 62.6% 05年12月末時点)		
		ムバラス石油(B/D)	9,120	(出資比率 62.6% 05年12月末時点)		
合同石油開発(B/D)		18,790	(出資比率 35.0%)		—	

※1 SD : 定期整備等の影響を除いた稼働率

※2 生産量: プロジェクト会社の期中平均生産量。当社の引き取り量は、出資比率相当分。

All Right Reserved. Copyright © 2006 ,COSMO OIL CO.,LTD.

 **COSMO OIL CO., LTD.**

<http://www.cosmo-oil.co.jp>

【実績・見通し】石油単体 中計進捗総括表

補足2

項目	部門	2005年度実績							2006年度 見通し
		上期実績	下期実績	通期					
				実績	当初 計画	前回 (2/14) 見直し	達成率 (当初 計画比)	達成率 (前回 見直し比)	
(億円)	(億円)	(億円)	(億円)	(億円)	(%)	(%)	(億円)		
合理化	供給	7	8	15	17	15	88%	100%	11
	販売	0	0	0	0	0	—	—	5
	管理	2	3	5	3	5	167%	100%	5
	小計	9	11	20	20	20	100%	100%	21
付加価値向上	供給	14	34	48	28	43	171%	113%	15
	販売	25	24	49	39	49	126%	100%	24
	その他	0	0	0	1	0	0%	—	1
	小計	39	58	97	68	92	143%	106%	40
総合計		48	69	117	88	112	133%	105%	61

【05FY実績】主要連結会社・セグメント別実績：04年度実績比

補足3

<<主要連結会社別>>

単位：億円

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
		前年比		前年比		前年比		前年比
コスモ石油	24,954	5,304	751	277	756	339	465	328
アブダビ石油	522	155	203	77	214	95	45	42
ムバラス石油	172	172	103	103	107	107	16	16
販売子会社	3,579	528	22	2	17	▲ 1	▲ 4	15
コスモ石油ルブリカンツ	335	32	12	2	13	3	8	1
コスモ松山石油	250	50	16	▲ 1	16	0	9	0
CMアロマ	169	169	10	10	10	10	4	4

※当期純利益は当社持分相当額です

<<持分法投資損益>>

	実績	前年比
持分法投資損益	96	41

<<設備投資・減価償却費>>

	実績	前年比
設備投資	318	17
減価償却費	283	34

<<セグメント別>>

	売上高	営業利益	
			前年比
石油事業	26,174	835	288
石油開発事業	505	294	174
その他の事業	694	10	11
消去他	▲ 667	▲ 27	▲ 18

【05FY実績】主要連結会社・セグメント別実績：前回公表(2/14)比

補足4

<<主要連結会社別>>

単位：億円

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
		公表比		公表比		公表比		公表比
コスモ石油	24,954	54	751	21	756	26	465	15
アブダビ石油	522	0	203	1	214	▲ 4	45	▲ 3
ムバラス石油	172	0	103	2	107	2	16	▲ 1
販売子会社	3,579	83	22	▲ 2	17	▲ 2	▲ 4	▲ 2
コスモ石油ルブリカンツ	335	6	12	1	13	1	8	0
コスモ松山石油	250	▲ 1	16	1	16	1	9	0
CMアロマ	169	10	10	3	10	3	4	1

※当期純利益は当社持分相当額です

<<持分法投資損益>>

	実績	公表比
持分法投資損益	96	1

<<設備投資・減価償却費>>

	実績	公表比
設備投資	318	▲ 59
減価償却費	283	▲ 1

<<セグメント別>>

	売上高	営業利益	
			公表比
石油事業	26,174	835	35
石油開発事業	505	294	4
その他の事業	694	10	0
消去他	▲ 667	▲ 27	3

【05FY実績】主要連結会社・セグメント別実績：中計目標比

補足5

<<主要連結会社別>>

単位：億円

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
		計画比		計画比		計画比		計画比
コスモ石油	24,954	5,254	751	351	756	376	465	255
アブダビ石油	522	261	203	51	214	65	45	14
ムバラス石油	172	41	103	34	107	38	16	4
販売子会社	3,579	105	22	▲ 5	17	▲ 8	▲ 4	▲ 14
コスモ石油ルブリカンツ	335	25	12	▲ 5	13	▲ 5	8	▲ 2
コスモ松山石油	250	56	16	5	16	6	9	3
CMアロマ	169	59	10	10	10	10	4	4

※当期純利益は当社持分相当額です

<<持分法投資損益>>

	実績	計画比
持分法投資損益	96	41

<<設備投資・減価償却費>>

	実績	計画比
設備投資	318	▲ 127
減価償却費	283	▲ 8

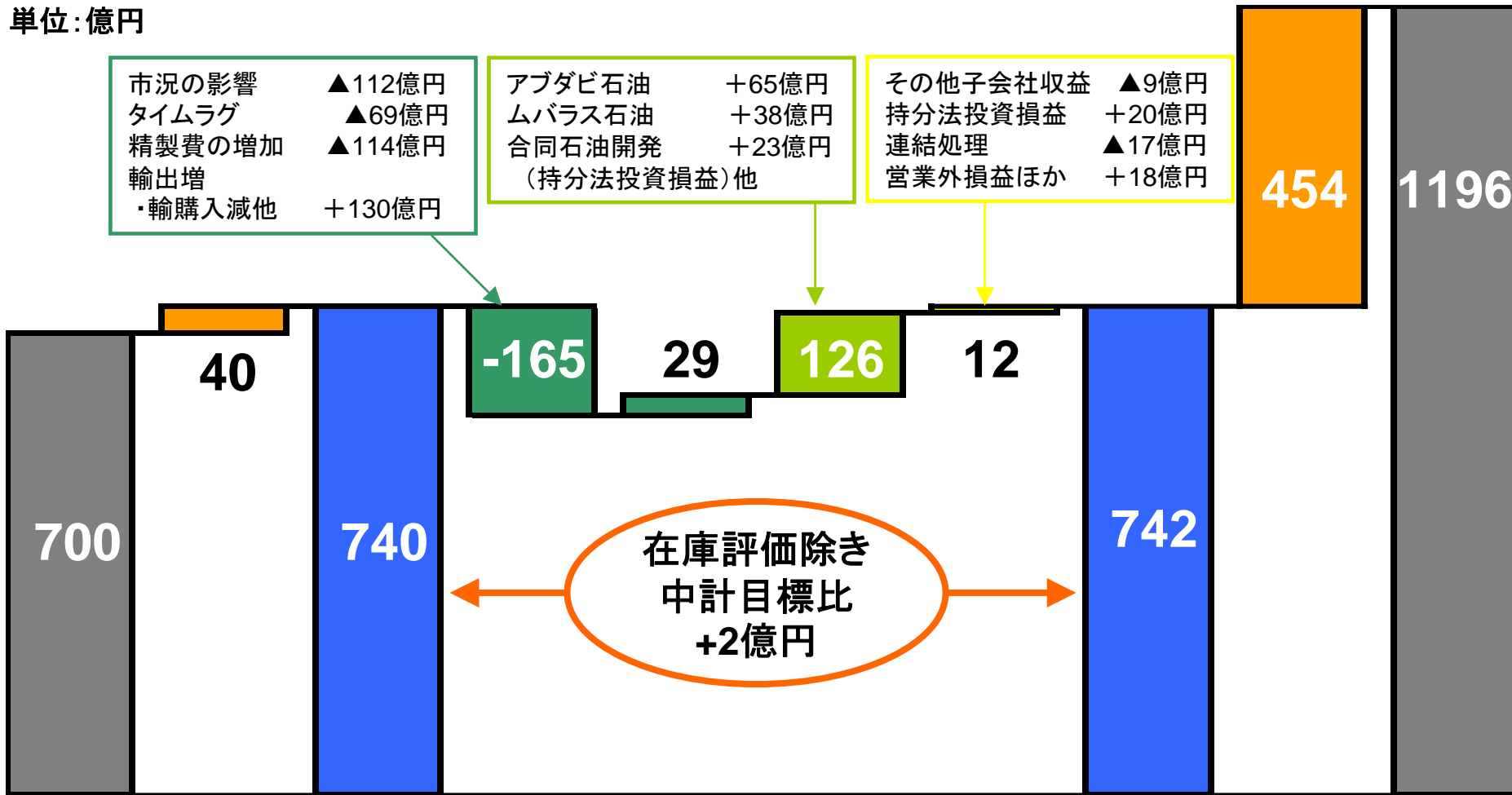
<<セグメント別>>

	売上高	営業利益	
			計画比
石油事業	26,174	835	355
石油開発事業	505	294	74
その他事業・消去	27	▲ 17	▲ 27

【05FY決算】連結 経常利益 中計目標比+496億円 増減分析

補足6

単位:億円



2005年度 中計目標			2005年度 実績						
経常利益	在庫評価の影響額	在庫評価除きの経常利益	石油単体		石油開発会社	その他	在庫評価除きの経常利益	在庫評価の影響額	経常利益
			市況の影響ほか	中計効果					

【06FY業績予想】主要連結会社・セグメント別予想：05年度実績比

補足7

<<主要連結会社別>>

単位：億円

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益(※2)	
		前年比		前年比		前年比		前年比
コスモ石油	25,000	46	170	▲ 581	130	▲ 626	65	▲ 400
アブダビ石油 (※1)	643	121	410	104	403	82	81	20
カタール石油開発	104	104	21	22	16	16	▲ 1	▲ 1
販売子会社	3,901	323	7	▲ 15	5	▲ 12	▲ 2	2
コスモ石油ルブリカンツ	365	31	11	▲ 1	12	▲ 1	6	▲ 2
コスモ松山石油	261	12	7	▲ 9	7	▲ 9	4	▲ 5
CMアロマ	429	260	16	6	15	5	6	2

※1：アブダビ石油とムバラス石油は、アブダビ石油を存続会社として06年1月1日に合併しました。

※2：当期純利益は当社持分相当額です

<<持分法投資損益>>

	通期予想	前年比
持分法投資損益	58	▲ 38

<<設備投資・減価償却費>>

	通期予想	前年比
設備投資	450	132
減価償却費	341	58

<<セグメント別>>

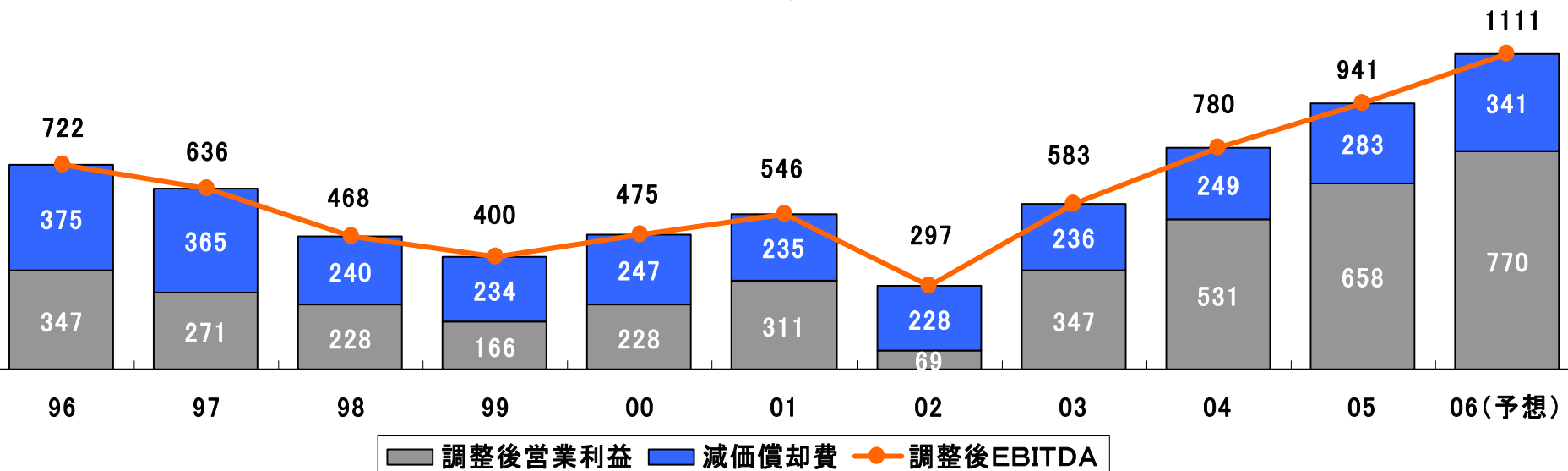
	売上高	営業利益	
			前年比
石油事業	26,140	260	▲ 575
石油開発事業	750	420	126
その他の事業	750	15	5
消去他	▲ 840	▲ 5	22

【06FY業績予想】連結 在庫評価の影響除きのEBITDA推移

補足8

単位:億円

EBITDAの推移(連結)



	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度 (予想)
会計上の営業利益	221	242	252	657	1,112	690
総平均法による在庫評価の影響(符号:対利益)	▲ 90	173	▲ 95	126	454	▲ 80
調整後営業利益(会計上の営業利益-在庫評価の影響)	311	69	347	531	658	770

2000年度より在庫評価方法変更

【05FY実績】人員数、油槽所数、SS数、カード枚数推移

人員数推移

	98/3末	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末	04/3末	05/3末	06/3末
石油単独	3,109	2,677	2,048	1,970	1,892	1,837	1,764	1,729	1,718
グループ	5,678	5,256	4,600	4,416	3,978	3,736	3,565	3,480	3,451

※グループ:石油単独+出向

油槽所数推移

	98/3末	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末	04/3末	05/3末	06/3末
DT数	57	52	45	41	39	39	38	38	38

SS数推移(可搬式を含む)

	98/3末	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末	04/3末	05/3末	06/3末
社有	1,172	1,105	1,065	1,010	977	959	930	899	886
自己	5,614	5,376	5,040	4,769	4,564	4,313	4,112	3,912	3,760
合計	6,786	6,481	6,105	5,779	5,541	5,272	5,042	4,811	4,646

上記のうち、セルフSS数及びAuto B-CleSS数

	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末	04/3末	05/3末	06/3末
セルフ	5	8	23	109	285	398	483	626
Auto B-Cle	-	-	-	217	428	652	652	469※

※Auto B-CleSSの定義を厳格化したためSS数は減少。但し、ネットワーク数(59)については変更ありません。

コスモ・ザ・カード枚数推移(万枚)

	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末	04/3末	05/3末	06/3末
有効枚数	135	146	162	185	213	239	242	255

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

※NAVI(ナビ)指数について

- ◆当社グループ独自のSS向け経営指数。数値(マイナスもありうる)が小さいほど良い。
- ◆運営コストを最小化すると共に、付加価値収益(車検、洗車、タイヤ等販売の収益)および自動車用燃料油(ガソリン、軽油)販売数量を最大化させることを指向している。

《計算式》

$$\text{SS NAVI指数} = \frac{\text{SS直接経費} - \text{付加価値収益}}{\text{自動車用燃料油販売数量}}$$